

平成 25 年度東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻／健康科学・看護学専攻シラバス

科 目 名	精神保健学 I / 精神保健学特論 I		
学 期	夏学期	単 位 数	2 単位
曜日・授業時間帯	火曜日・5 限(16:40-18:10)		
場 所	医学部・教育研究棟 13 階公共健康医学専攻講義室		
担 当 教 員	川上憲人、島津明人、非常勤講師		
授 業 の 目 的	精神保健の実態およびニーズを把握し、効果的な第一次、第二次、第三次予防対策を立案することができるようになるために、精神保健疫学の基礎および精神保健対策の科学的根拠を知り、地域における対策の進め方について事例（ケーススタディ）を通じて学ぶことで、実践的な能力も身につけることを目的とする。		
授 業 の 方 法	各回 1 テーマの講義あるいは事例研究（ケーススタディ） 担当教員（または非常勤講師）による講義、あるいは学生がテーマに関して発表しこれに担当教員が補足を行い、全員で討論（ディベート）する。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>4 / 9 1) オリエンテーション、総論</p> <p>4 / 16 2) 精神疾患の診断、頻度と危険因子</p> <p>4 / 23 3) 精神健康の測定と評価</p> <p>4 / 30 4) 認知行動療法と精神保健（今村幸太郎特任研究員）</p> <p>5 / 7 5) 精神保健とサービス利用</p> <p>5 / 14 6) 世界の疾病負担 2010 と精神保健（渋谷健司先生、医学系研究科国際保健政策学・教授）</p> <p>5 / 21 7) 課題発表 1：精神保健の対策と効果（その 1）</p> <p>5 / 28 8) 課題発表 1：精神保健の対策と効果（その 2）</p> <p>6 / 4 9) トピックス①：うつ・自殺対策（国および秋田県の対策）（本橋 豊先生、秋田大学理事・副学長）</p> <p>6 / 11 10) トピックス②：うつ・自殺対策（長崎県の対策）（大塚俊弘先生、長崎県福祉保健部医療監兼県央保健所長）</p> <p>6 / 18 11) トピックス③：職場のメンタルヘルス</p> <p>6 / 25 12) トピックス④：精神障がいからのリハビリ（千葉理恵先生、自治医科大学精神看護学・講師）</p> <p>7 / 2 13) トピックス⑤：災害時の精神保健（金 吉晴先生、国立精神・神経医療研究センター・部長）</p> <p>7 / 9 14) トピックス⑥：精神保健行政の現状と課題（友利久哉先生、厚生労働省精神・障害保健課・課長補佐）</p> <p>7 / 23 15) 課題発表 2（5, 6 限）※</p> <p>※最終回のみ授業時間が 16:40-20:00 となるので注意すること。</p>		
教科書・参考書等	教科書は指定しない。毎回、講義資料を配付する。		
成績評価の方法	出席、課題発表およびレポートにより総合的に評価する。		
他の授業との関連	職場における精神保健対策について学ぶ「精神保健学特論 II」と関連する。		